

ANAホールディングス株式会社 説明会

2019年3月期 第1四半期 決算説明会

執行役員
グループ経理・財務室長

福澤 一郎

2018年8月1日



目次

2018年度 第1四半期決算

業績ハイライト	P. 3
連結決算概要	
経営成績	P. 4
財政状態	P. 5
キャッシュフロー	P. 6
セグメント別実績	P. 7
航空事業	
収入・費用	P. 9
営業利益 増減要因	P. 10
国内旅客事業	P. 11-12
国際旅客事業	P. 13-15
国内貨物事業	P. 17
国際貨物事業	P. 18-20
LCC事業	P. 21-22
燃油・為替ヘッジの進捗状況	P. 23
航空事業以外のセグメント	P. 24
ボーイング787型機の運航について	P. 25

補足資料

運用航空機数	P. 28
国際旅客 方面別実績 (構成比)	P. 29
国際貨物 方面別実績 (構成比)	P. 30

ディスクロージャー
2017年度 優良企業

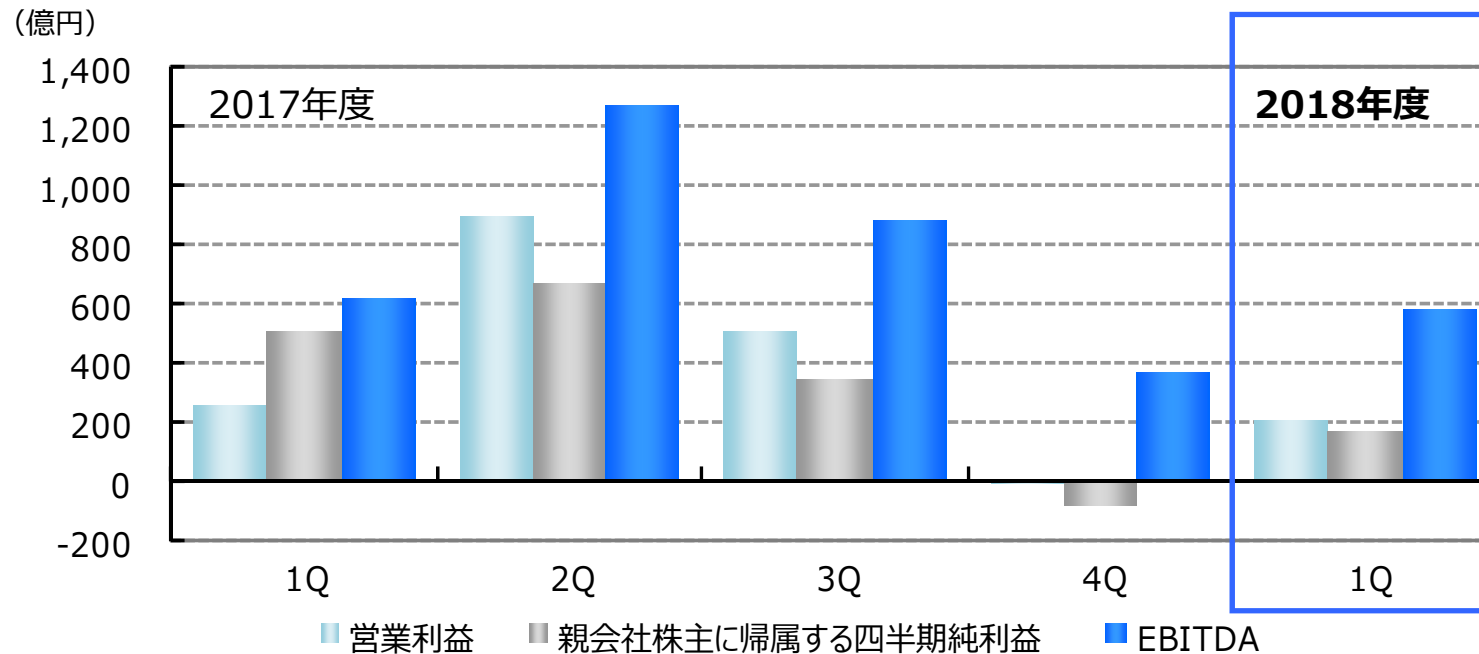


業績ハイライト

当第1四半期と前年度各四半期の業績比較

【2018年度 第1四半期 (連結)】

- 営業利益 : 200億円 (前年同期比 △ 53億円)
- 親会社株主に帰属する四半期純利益 : 161億円 (同 △ 349億円)
- EBITDA : 576億円 (同 △ 44億円)



連結決算概要

経営成績	(億円)	FY2017	FY2018	前年差
		第1四半期	第1四半期	
売上高		4,517	4,848	+ 331
営業費用		4,262	4,648	+ 385
営業利益		254	200	△ 53
営業利益率 (%)		5.6	4.1	△ 1.5pt
営業外損益		△ 6	△ 6	+ 0
経常利益		247	194	△ 53
特別損益		355	0	△ 355
親会社株主に帰属する四半期純利益		510	161	△ 349
四半期純利益		512	161	△ 350
その他包括利益		46	301	+ 254
包括利益		559	463	△ 96

連結決算概要

財政状態

(億円)	FY2017 期末	FY2018 第1四半期末	前年度 期末差
総資産	25,624	25,942	+ 317
自己資本	9,886	10,053	+ 167
自己資本比率(%)	38.6	38.8	+ 0.2pt
有利子負債残高	7,983	8,234	+ 250
D/Eレシオ (倍) *	0.8	0.8	+ 0.0
純有利子負債残高 **	4,408	4,637	+ 229

* オフバランスリース債務額 121億円（前年度期末 205億円）を含むD/Eレシオは0.8倍（前年度期末0.8倍）

** 純有利子負債残高 = 有利子負債残高 - （流動資産（現金及び預金 + 有価証券））

連結決算概要

キャッシュフロー

(億円)

	FY2017 第1四半期	FY2018 第1四半期	前年差
営業キャッシュフロー	956	810	△ 145
投資キャッシュフロー	△ 1,204	△ 609	+ 594
財務キャッシュフロー	△ 72	△ 105	△ 32
現金及び現金同等物の増減額	△ 323	98	+ 422
現金及び現金同等物の期首残高	3,090	2,705	} + 98
現金及び現金同等物の期末残高	2,766	2,803	
減価償却費	366	376	+ 9
設備投資額 (固定資産のみ)	872	740	△ 132
実質フリーキャッシュフロー (3ヶ月超の定期・譲渡性預金を除く)	△ 65	124	+ 190
EBITDA (営業利益 + 減価償却費)	620	576	△ 44
EBITDAマージン (%)	13.7	11.9	△ 1.9pt

連結決算概要

セグメント別実績

(億円)

	FY2017 第1四半期	FY2018 第1四半期	前年差	
売上高	航空事業	3,968	4,264	+ 295
	航空関連事業	658	699	+ 41
	旅行事業	363	360	△ 2
	商社事業	335	369	+ 33
	その他	88	93	+ 5
	調整額	△ 895	△ 938	△ 42
	合計 (連結)	4,517	4,848	+ 331
営業利益	航空事業	231	183	△ 48
	航空関連事業	42	42	△ 0
	旅行事業	6	△ 0	△ 7
	商社事業	9	7	△ 2
	その他	5	6	+ 0
	調整額	△ 42	△ 37	+ 5
	合計 (連結)	254	200	△ 53

Intentionally Left Blank

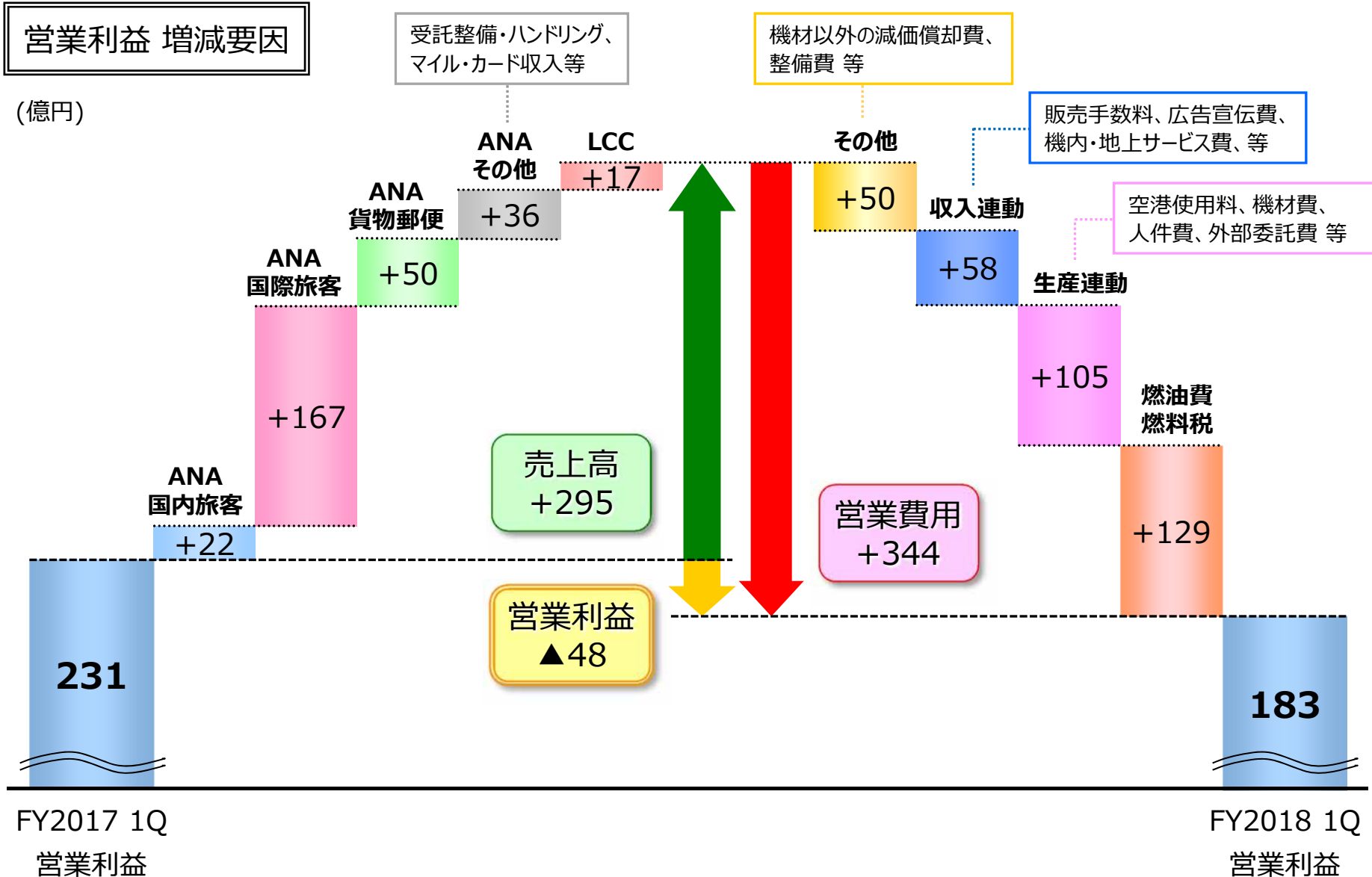
航空事業

収入・費用			FY2017 第1四半期	FY2018 第1四半期	前年差
		(億円)			
売上高	ANA	国内旅客	1,546	1,568	+ 22
		国際旅客	1,394	1,562	+ 167
		貨物郵便	362	413	+ 50
		その他	470	507	+ 36
	LCC	193	211	+ 17	
	合計		3,968	4,264	+ 295
営業費用	燃油費・燃料税		727	856	+ 129
	空港使用料		301	302	+ 1
	航空機材賃借費		275	296	+ 20
	減価償却費		350	359	+ 8
	整備部品・外注費		327	370	+ 43
	人件費		487	517	+ 29
	販売費		244	277	+ 32
	外部委託費		541	587	+ 46
	その他		479	511	+ 31
	合計		3,736	4,080	+ 344
営業利益	営業利益		231	183	△ 48
	EBITDA (営業利益+減価償却費)		582	542	△ 39
	EBITDAマージン (%)		14.7	12.7	△ 1.9pt

航空事業

営業利益 増減要因

(億円)



航空事業

国内旅客事業（実績）

（ANAブランド）

	FY2017 第1四半期	FY2018 第1四半期	前年比(%)
座席キロ（百万）	14,410	14,551	+ 1.0
旅客キロ（百万）	9,296	9,669	+ 4.0
旅客数（千人）	10,353	10,668	+ 3.0
座席利用率（%）	64.5	66.4	+ 1.9pt*
旅客収入（億円）	1,546	1,568	+ 1.5
ユニットレベニュー（円） （旅客収入／座席キロ）	10.7	10.8	+ 0.5
イールド（円） （旅客収入／旅客キロ）	16.6	16.2	△ 2.4
単価（円） （旅客収入／旅客数）	14,934	14,706	△ 1.5

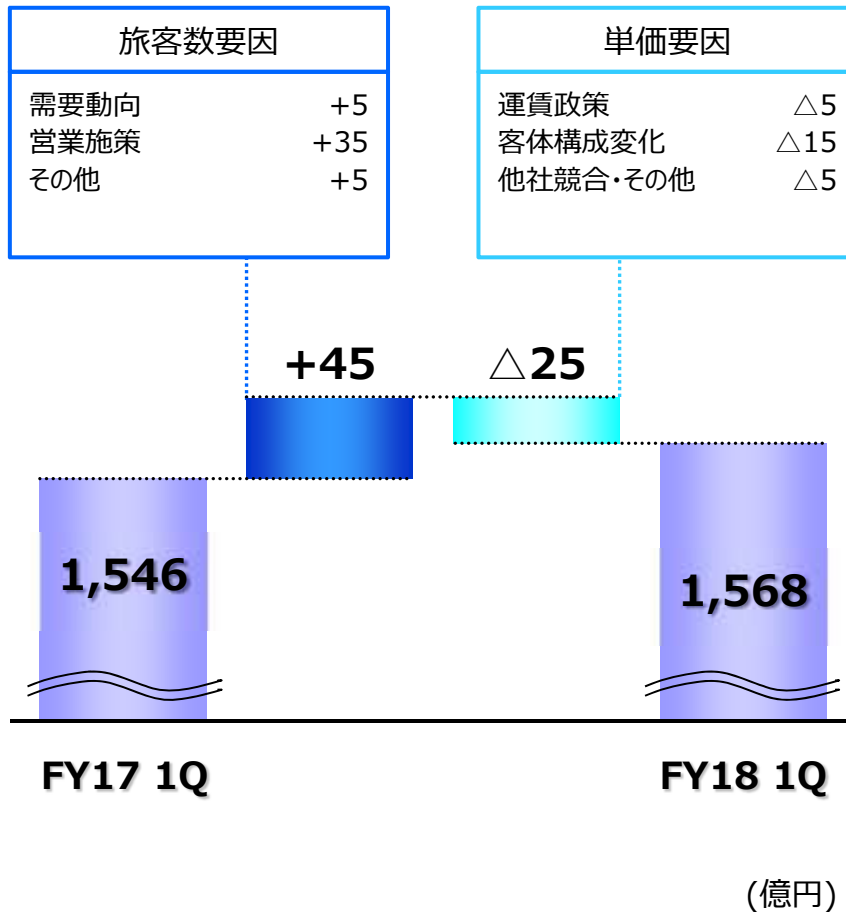
* 座席利用率のみ前年差

航空事業

国内旅客事業（事業動向）

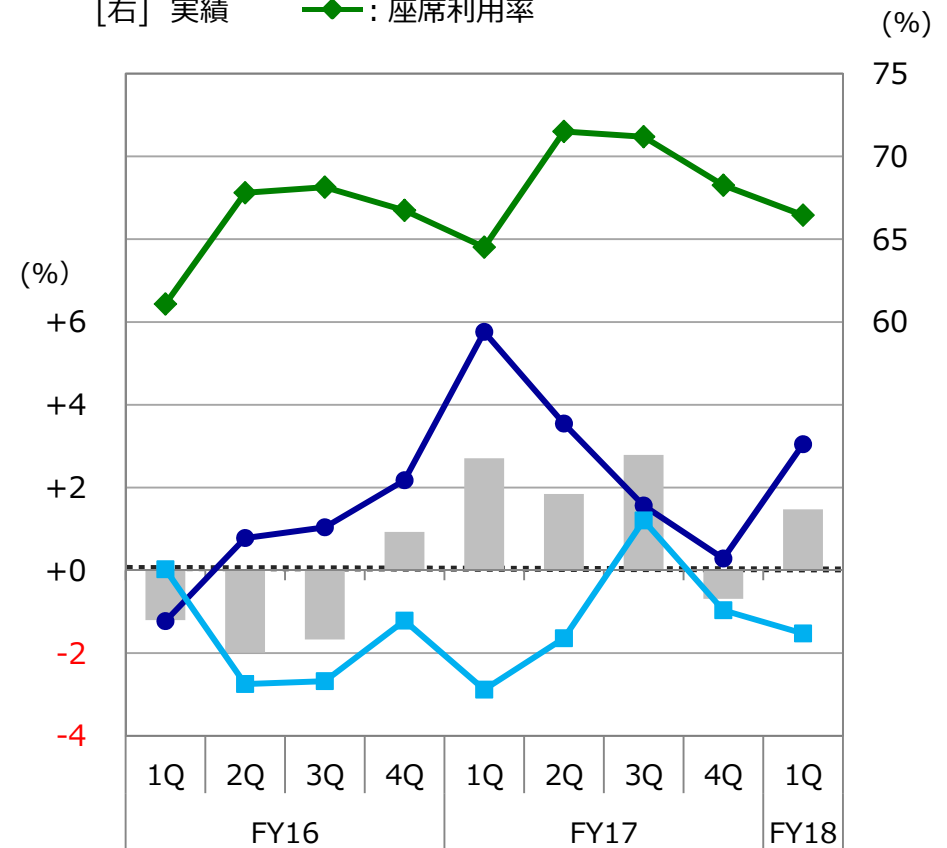
(ANAブランド)

第1四半期 収入増減要因



四半期別 実績推移

[左] 前年比 ■ : 旅客収入 ● : 旅客数 □ : 単価
 [右] 実績 ◆ : 座席利用率



航空事業

国際旅客事業（実績）

（ANAブランド）

	FY2017 第1四半期	FY2018 第1四半期	前年比(%)
座席キロ（百万）	15,759	16,608	+ 5.4
旅客キロ（百万）	11,608	12,509	+ 7.8
旅客数（千人）	2,246	2,509	+ 11.7
座席利用率（%）	73.7	75.3	+ 1.7pt*
旅客収入（億円）	1,394	1,562	+ 12.0
ユニットレベニュー（円） （旅客収入／座席キロ）	8.9	9.4	+ 6.3
イールド（円） （旅客収入／旅客キロ）	12.0	12.5	+ 4.0
単価（円） （旅客収入／旅客数）	62,073	62,273	+ 0.3

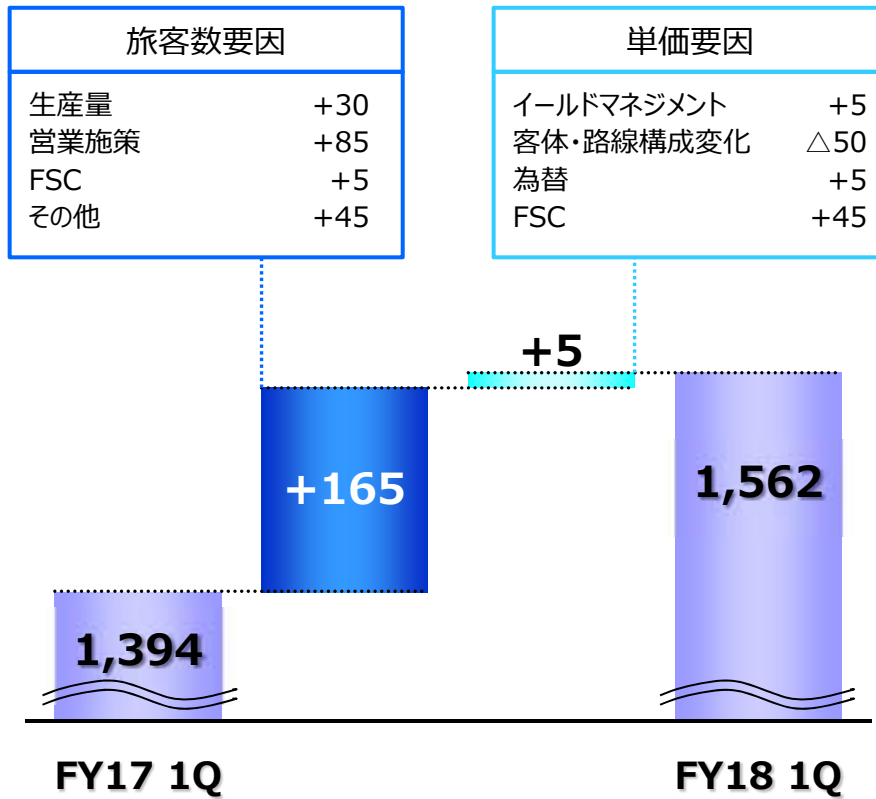
* 座席利用率のみ前年差

航空事業

国際旅客事業（事業動向）

（ANAブランド）

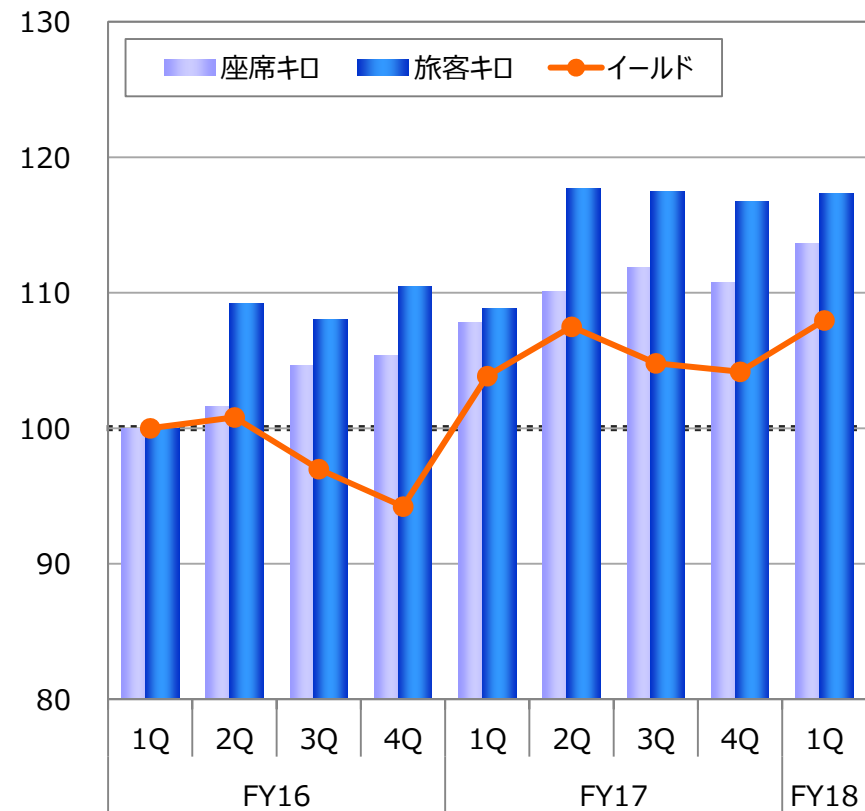
第1四半期 収入増減要因



（億円）

四半期別 実績推移

指数 (FY16 1Q=100)



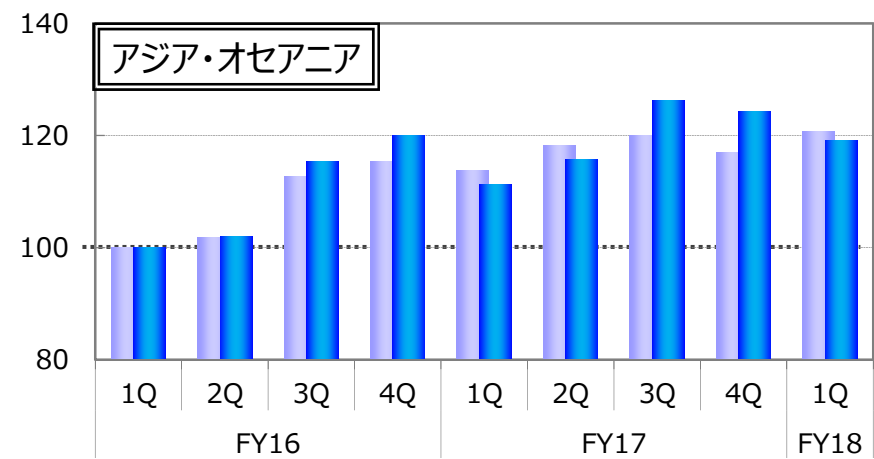
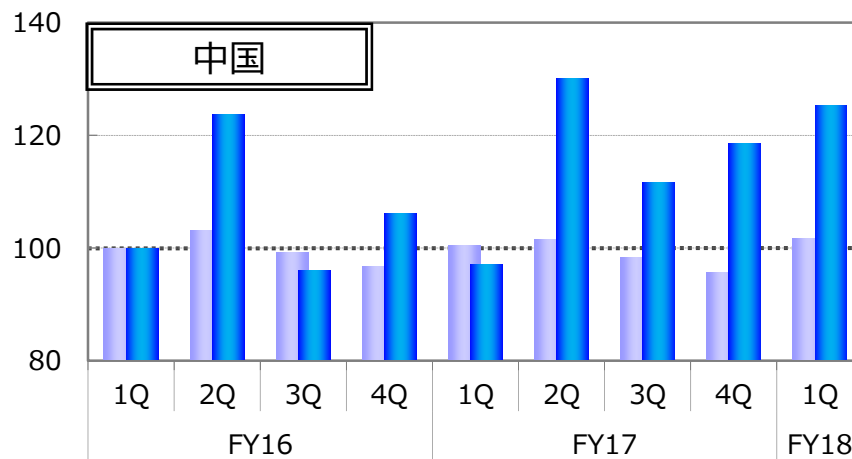
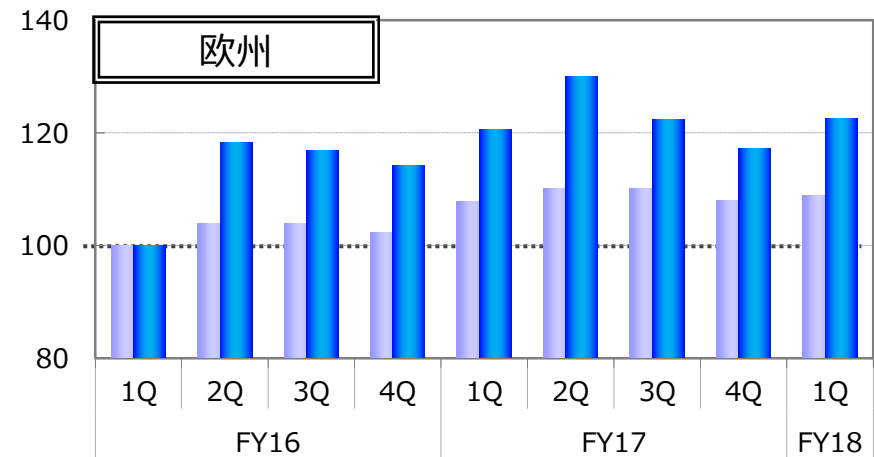
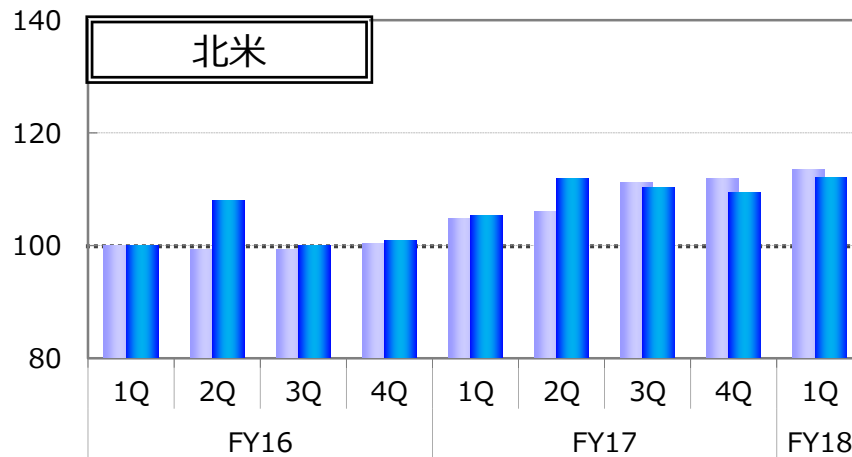
航空事業

国際旅客事業（事業動向）

（ANAブランド）

四半期別・方面別 推移

指数 (FY16 1Q=100) ■ : 座席キ〇 ■ : 旅客キ〇



Intentionally Left Blank

航空事業

国内貨物事業（実績）

（ANAブランド）

	FY2017 第1四半期	FY2018 第1四半期	前年比(%)
有効貨物トンキロ（百万）	425	426	+ 0.4
有償貨物トンキロ（百万）	104	100	△ 4.4
貨物輸送重量（千トン）	101	96	△ 5.3
貨物重量利用率（%）	24.7	23.5	△ 1.2pt*
貨物収入（億円）	72	70	△ 2.4
ユニットレベニュー（円） （貨物収入／有効貨物トンキロ）	17.0	16.5	△ 2.8
イールド（円） （貨物収入／有償貨物トンキロ）	68.8	70.3	+ 2.1
重量単価（円/kg） （貨物収入／貨物輸送重量）	71	73	+ 3.1

* 貨物重量利用率のみ前年差

航空事業

国際貨物事業（実績）

（ANAブランド）

	FY2017 第1四半期	FY2018 第1四半期	前年比(%)
有効貨物トンキロ（百万）	1,674	1,798	+ 7.4
有償貨物トンキロ（百万）	1,098	1,134	+ 3.3
貨物輸送重量（千トン）	243	245	+ 0.9
貨物重量利用率（%）	65.6	63.1	△ 2.5pt*
貨物収入（億円）	268	320	+ 19.0
ユニットレベニュー（円） （貨物収入／有効貨物トンキロ）	16.1	17.8	+ 10.8
イールド（円） （貨物収入／有償貨物トンキロ）	24.5	28.2	+ 15.2
重量単価（円/kg） （貨物収入／貨物輸送重量）	110	130	+ 18.0

* 貨物重量利用率のみ前年差

航空事業

【参考】 国際フレイター（実績）

本表のデータは、P.18記載実績の内数

	FY2017 第1四半期	FY2018 第1四半期	前年比(%)
有効貨物トンキロ（百万）	266	307	+ 15.3
有償貨物トンキロ（百万）	168	216	+ 28.2
貨物輸送重量（千トン）	90	93	+ 2.8
貨物重量利用率（%）	63.2	70.3	+ 7.1pt*
貨物収入（億円）	66	92	+ 38.6
ユニットレベニュー（円） （貨物収入／有効貨物トンキロ）	25.0	30.1	+ 20.2
イールド（円） （貨物収入／有償貨物トンキロ）	39.6	42.8	+ 8.1
重量単価（円/kg） （貨物収入／貨物輸送重量）	73	99	+ 34.8

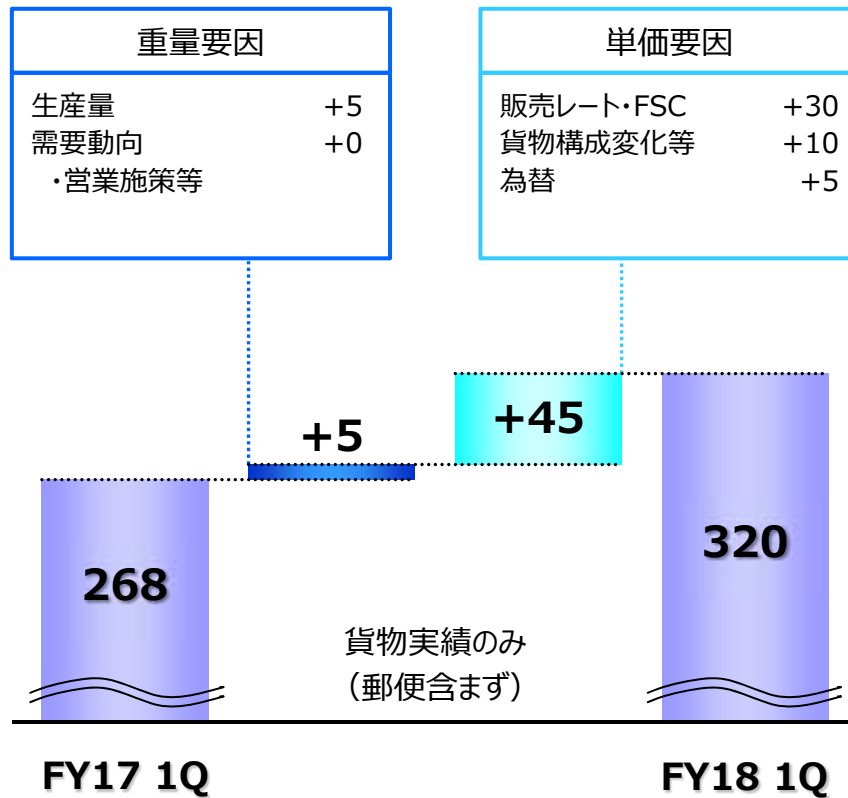
* 貨物重量利用率のみ前年差

航空事業

国際貨物事業（事業動向）

（ANAブランド）

第1四半期 収入増減要因

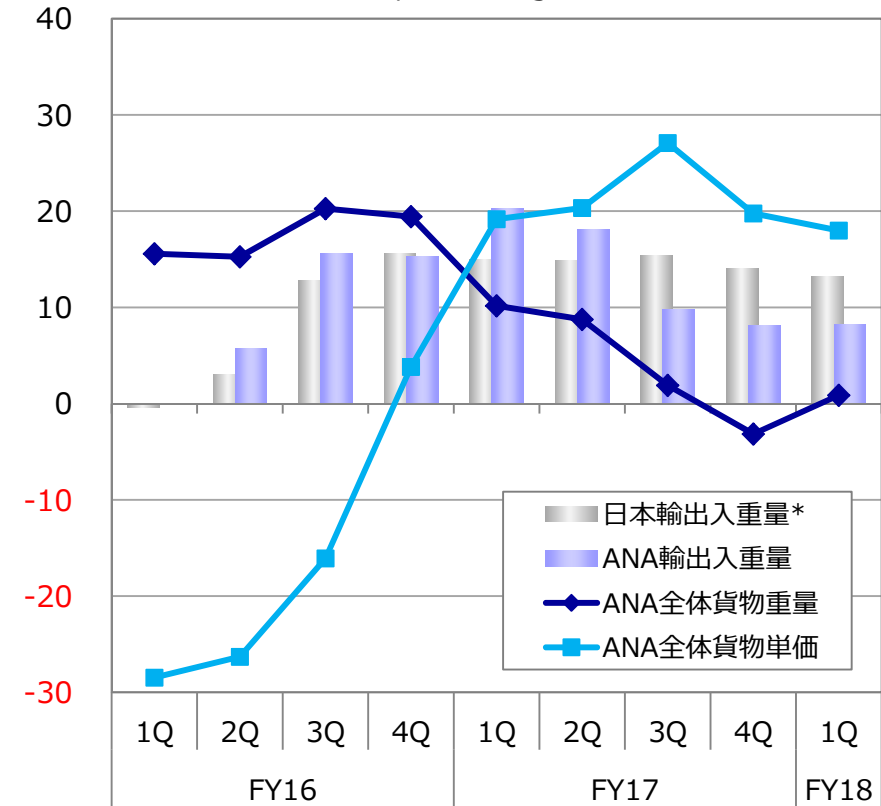


（億円）

四半期別 実績推移

前年比(%)

* Japan Aircargo Forwarders Association



FY16の前年比については、販売手数料の廃止による影響を除いた実質的な単価で算出

航空事業

LCC事業（実績）

（Peach Aviation・バニラエア 合計）

	FY2017 第1四半期	FY2018 第1四半期	前年比(%)
座席キロ（百万）	2,832	2,947	+ 4.1
旅客キロ（百万）	2,418	2,547	+ 5.3
旅客数（千人）	1,837	1,997	+ 8.7
座席利用率（%）	85.4	86.4	+ 1.0pt*
売上高（億円）**	193	211	+ 9.2
ユニットレベニュー（円） （売上高／座席キロ）	6.8	7.2	+ 5.0
イールド（円） （売上高／旅客キロ）	8.0	8.3	+ 3.7
単価（円） （売上高／旅客数）	10,553	10,606	+ 0.5

* 座席利用率のみ前年差

** 売上高に付帯収入を含む

航空事業

Peach Aviation 輸送実績

(国内線・国際線合計)	FY2017 第1四半期	FY2018 第1四半期	前年比(%)
座席キ〇 (百万)	1,611	1,814	+ 12.6
旅客キ〇 (百万)	1,382	1,598	+ 15.7
旅客数 (千人)	1,186	1,365	+ 15.1
座席利用率 (%)	85.8	88.1	+ 2.4pt*

バニラエア 輸送実績

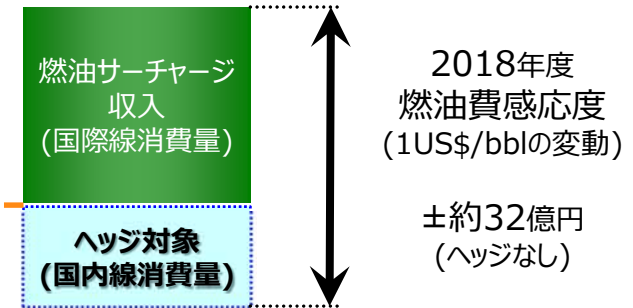
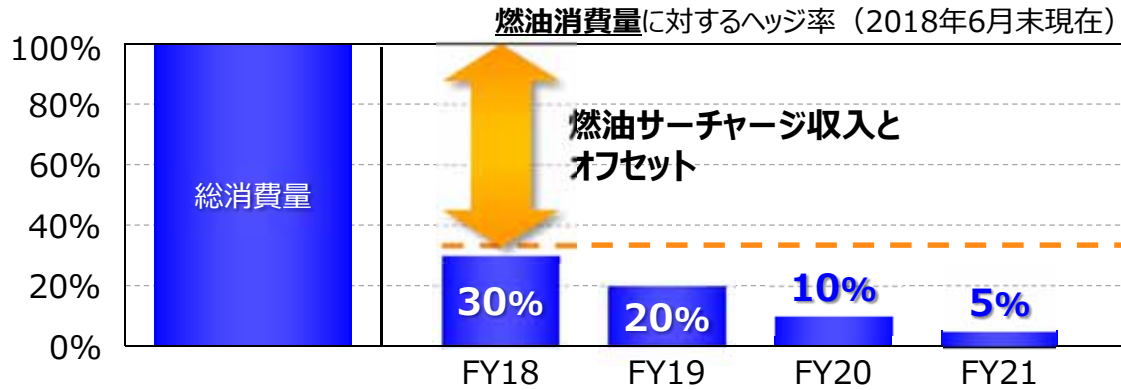
(国内線・国際線合計)	FY2017 第1四半期	FY2018 第1四半期	前年比(%)
座席キ〇 (百万)	1,221	1,133	△ 7.2
旅客キ〇 (百万)	1,035	948	△ 8.4
旅客数 (千人)	651	632	△ 3.0
座席利用率 (%)	84.8	83.7	△ 1.2pt*

* 座席利用率のみ前年差

燃油・為替ヘッジの進捗状況 (ANAブランド)

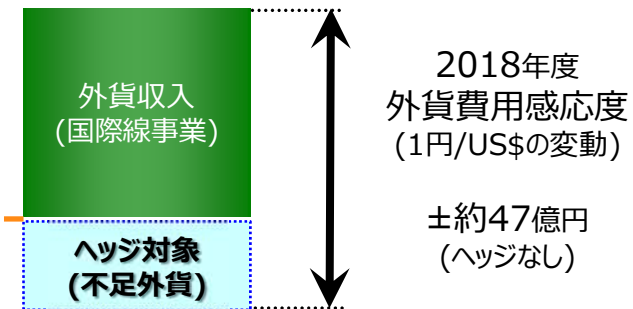
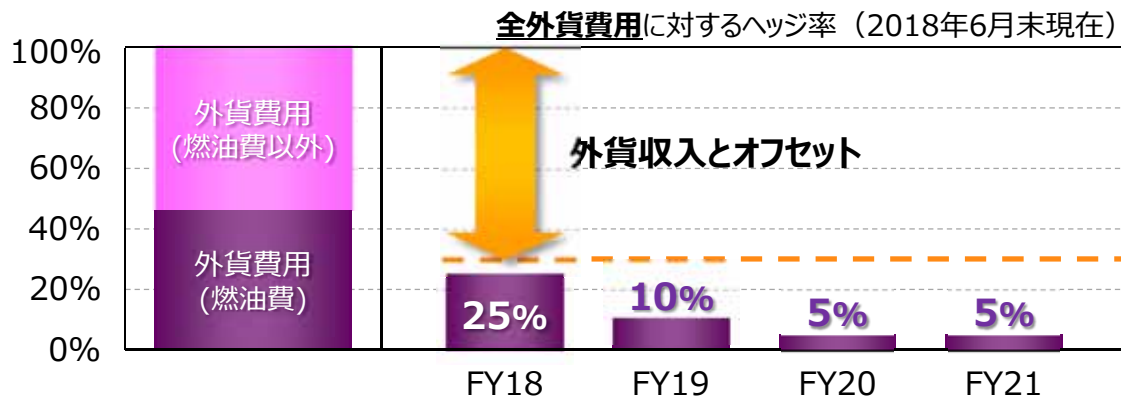
- 1. 燃油ヘッジ 基本方針**
- 1) 国内線消費量を対象にヘッジ (3年前から取引開始)
 - 2) 国際線消費量は原則としてヘッジ対象外 (燃油サーチャージ収入で対応)

(US\$/bbl)	FY18 1Q実績	FY18前提
ドバイ原油	72.1	62
シンガポールケロシン	87.4	75



- 2. 為替ヘッジ 基本方針**
- 1) 不足する外貨量を対象にヘッジ (3年前から取引開始)

(円/US\$)	FY18 1Q実績	FY18前提
ドル円レート	109.2	110



航空事業以外のセグメント

セグメント別実績

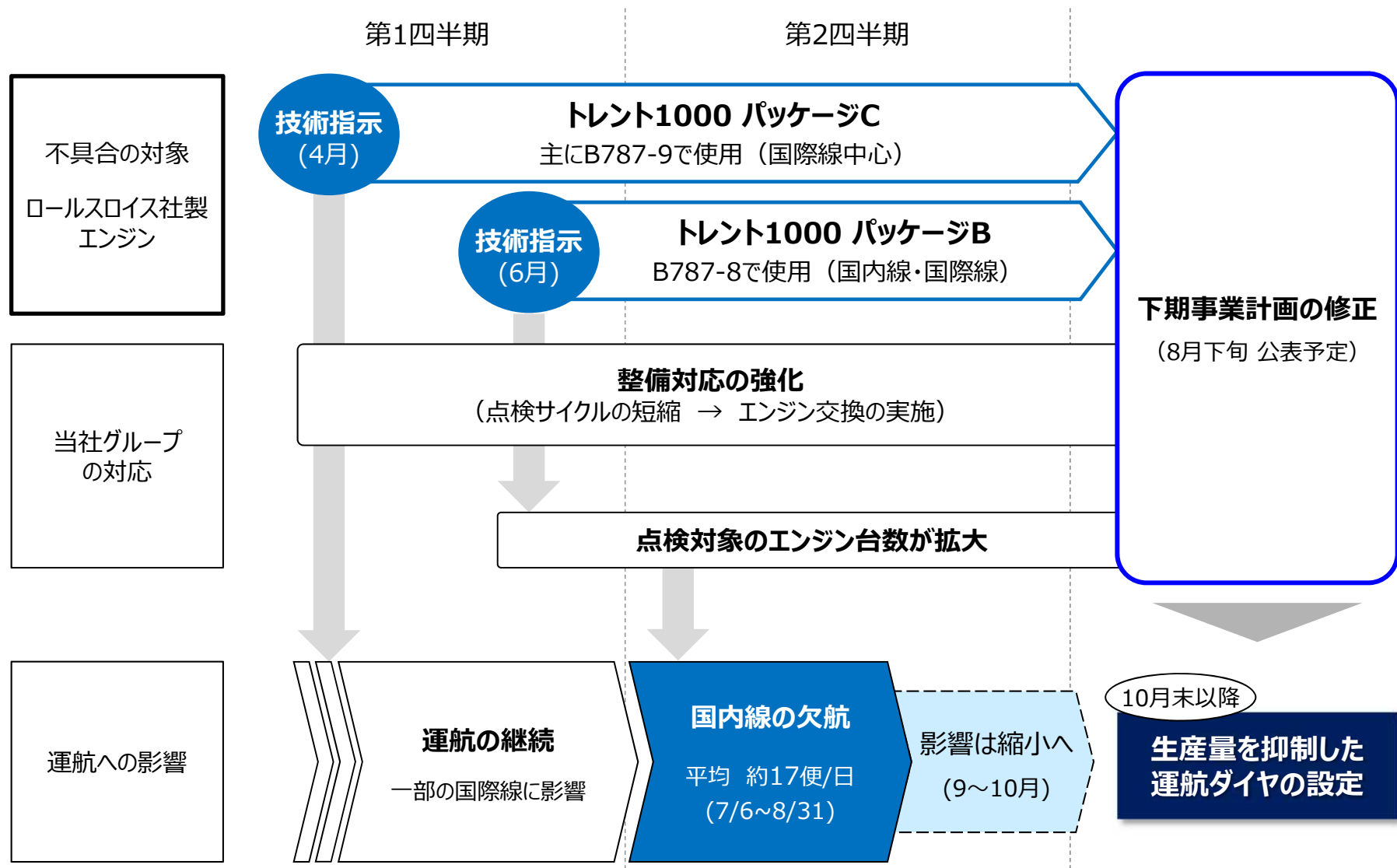
(億円)

	航空関連事業			旅行事業		
	FY2017 第1四半期	FY2018 第1四半期	前年差	FY2017 第1四半期	FY2018 第1四半期	前年差
売上高	658	699	+ 41	363	360	△ 2
営業利益	42	42	△ 0	6	△ 0	△ 7
減価償却費	11	11	△ 0	0	1	+ 0
EBITDA (営業利益+減価償却費)	54	53	△ 0	7	0	△ 7
EBITDAマージン(%)	8.2	7.7	△ 0.6pt	2.1	0.1	△ 2.0pt

	商社事業			その他		
	FY2017 第1四半期	FY2018 第1四半期	前年差	FY2017 第1四半期	FY2018 第1四半期	前年差
売上高	335	369	+ 33	88	93	+ 5
営業利益	9	7	△ 2	5	6	+ 0
減価償却費	3	3	+ 0	0	0	+ 0
EBITDA (営業利益+減価償却費)	12	10	△ 2	6	6	+ 0
EBITDAマージン(%)	3.8	2.8	△ 1.0pt	7.2	7.1	△ 0.1pt

ボーイング787型機の運航について

※2018/8/1 現在



Intentionally Left Blank

補足資料



補足資料

運用航空機数	FY2017 期末	FY2018 第1四半期末	前年度 期末差	保有機数	リース機数
Boeing 777-300/-300ER	29	29	—	26	3
Boeing 777-200/-200ER	21	21	—	15	6
Boeing 787-9	28	28	—	25	3
Boeing 787-8	36	36	—	31	5
Boeing 767-300/-300ER	34	34	—	23	11
Boeing 767-300F/-300BCF	12	12	—	8	4
Airbus A321-200neo	2	3	+ 1	—	3
Airbus A321-200	4	4	—	—	4
Airbus A320-200neo	3	4	+ 1	4	—
Airbus A320-200	7	7	—	7	—
Boeing 737-800	36	36	—	24	12
Boeing 737-700	7	7	—	7	—
Boeing 737-500	14	12	△ 2	12	—
Bombardier DHC-8-400	24	24	—	24	—
ANA 計	257	257	—	206	51
Airbus A320-200	15	15	—	—	15
Airbus A320-200	20	20	—	—	20
ANAグループ計	292	292	—	206	86

補足資料

国際旅客 方面別実績（構成比）

（ANAブランド）

FY2018
第1四半期
構成比

前年差

		FY2018 第1四半期 構成比	前年差
旅客収入	北米	30.9	△ 1.1
	欧州	19.9	△ 0.6
	中国	14.7	+ 2.3
	アジア・オセアニア	29.9	△ 0.7
	リゾート	4.6	+ 0.1
座席キロ	北米	33.7	+ 0.9
	欧州	15.5	△ 0.7
	中国	10.7	△ 0.4
	アジア・オセアニア	35.2	+ 0.3
	リゾート	4.9	△ 0.0
旅客キロ	北米	33.0	△ 0.4
	欧州	16.3	△ 1.0
	中国	10.5	+ 1.7
	アジア・オセアニア	34.8	△ 0.2
	リゾート	5.4	△ 0.1

補足資料

国際貨物 方面別実績（構成比）

(ANAブランド)

FY2018
第1四半期
構成比

前年差

貨物収入	北米	34.6	+ 3.0
	欧州	14.4	△ 1.8
	中国	23.5	△ 0.9
	アジア・オセアニア	23.5	+ 0.2
	その他	4.0	△ 0.5
有効貨物 トンキロ	北米	41.2	+ 4.0
	欧州	15.1	△ 1.0
	中国	15.2	△ 1.1
	アジア・オセアニア	26.5	△ 1.2
	その他	2.1	△ 0.6
有償貨物 トンキロ	北米	42.2	+ 4.2
	欧州	16.8	△ 3.7
	中国	13.4	△ 0.6
	アジア・オセアニア	25.3	+ 0.5
	その他	2.3	△ 0.5

グループ経営理念

安心と信頼を基礎に、世界をつなぐ心の翼で夢にあふれる未来に貢献します

グループ安全理念

安全は経営の基盤であり社会への責務である
 私たちはお互いの理解と信頼のもと確かなしくみで安全を高めていきます
 私たちは一人ひとりの責任ある誠実な行動により安全を追求します

グループ経営ビジョン

ANAグループは、お客様満足と価値創造で
 世界のリーディングエアライングループを目指します

グループ行動指針
 (ANA's Way)

私たちは「あんしん、あったか、あかるく元気！」に、次のように行動します。

1. 安全 (Safety)
 安全こそ経営の基盤、守り続けます。
2. お客様視点 (Customer Orientation)
 常にお客様の視点に立って、最高の価値を生み出します。
3. 社会への責任 (Social Responsibility)
 誠実かつ公正に、より良い社会に貢献します。
4. チームスピリット (Team Spirit)
 多様性を活かし、真摯に議論し一致して行動します。
5. 努力と挑戦 (Endeavor)
 グローバルな視野を持って、ひたむきに努力し枠を超えて挑戦します。

免責事項

当資料には、弊社の現在の計画、見積り、戦略、確信に基づく見通しについての記述がありますが、歴史的な事実でないものは、全て将来の業績に関わる見通しです。これらは現在入手可能な情報から得られた弊社の判断及び仮説に基づいています。

弊社グループの主要事業である航空事業には、空港使用料、航空機燃料税等、弊社の経営努力では管理不可能な公的負担コストが伴います。また、弊社が事業活動を行っている市場は状況変化が激しく、技術、需要、価格、経済環境の動向、外国為替レートの変動、その他多くの要因により急激な変化が発生する可能性があります。これらのリスクと不確実性のために、将来における弊社の業績は当資料に記述された内容と大きく異なる可能性があります。従って、弊社が設定した目標は、全て実現することを保証するものではありません。

当資料はホームページでもご覧いただけます。

<http://www.ana.co.jp/group/investors>

株主・投資家情報 → I R 資料室 → 決算説明会資料

ANAホールディングス(株) グループ経理・財務室 財務企画・I R部

Eメール : ir@anahd.co.jp